



豊里

日頃の鍛錬の成果を競い合う 5月31日

消防団の消防技術の向上と士気高揚を図ることを目的とした「登米市消防団豊里支団消防訓練」が、豊里多目的広場で開催され、日頃の訓練の成果をそれぞれ競い合いました。

訓練は、豊里支団7つの分団から95人の団員が参加。「小隊訓練」「ポンプ操法」を分団対抗で行いました。迅速な動作や確実な操作など、各分団のレベルは非常に高く、来賓や出席者から大きな拍手が送られていました。

次世代育成のために職場体験 5月13～15日

米山中学校(及川長五郎校長)では毎年2学年全生徒を対象に、キャリア教育の一環として「職場体験」を実施。本年も85人の生徒が市内21カ所に分かれさまざまな職業を体験しました。市消防本部では5人の生徒が各種訓練を体験。自身も同校卒業生で、今回指導した登米市消防署の及川由寛消防士長は「後輩の皆さんが、数ある職業の中から消防士を選んでくれたことが何より嬉しい。この体験を忘れずにいつか一緒に働ければ」と目を細めました。



米山



迫

スポ少迫支部一同で結団式! 5月27日

登米市スポーツ少年団迫支部の結団式が迫体育館を会場に開催されました。結団式には、25団体総勢約400人が各団のユニフォーム姿で参加し、日頃の活動内容、目標や将来の夢などを各団の代表が発表しました。

市スポーツ少年団迫支部の阿部正一支部長は「多くの思い出と仲間を作ってほしい」とあいさつ。会場には各団の指導者や保護者らが来場し、未来のアスリート候補、子どもたちの勇姿に夢を膨らませていました。



石越

安全運転で無事帰ってきてね 5月14日

春の交通安全期間中、石越町内の交通安全関係団体による「交通安全街頭キャンペーン」(無事かえる運動)を実施しました。当日は石越町第十四地区内の県道で、約1時間にわたり、交通安全母の会会員などが約150人のドライバーへ啓発パンフレットとカエルの形をした「無事かえるくんストラップ」を配布。参加者は「気をつけて運転してくださいね」とドライバーへ笑顔で、安全運転の実践を呼びかけました。

日本三景を前にウォーキング 5月23日

「いきいきノルディックウォーキング」第1回講座(南方公民館主催)が松島海岸周辺で開催されました。専用のポールを使って歩くノルディックウォーキング。仲間同士でおしゃべりを楽しみながら、松島海岸にある福浦島、雄島などに渡り、自然を堪能しました。参加者は「風景を楽しみながら歩くことができました」「楽しく運動できました」「みんなと一緒に歩けるんだねえ」など、心地よい潮風を感じながら気持ちよく体を動かしていました。



南方



東和

春の交通安全「レッド作戦」 5月11日

春の交通安全運動の初日、東和総合支所前の国道346号線で「レッド作戦」が実施されました。

レッド作戦とは、ドライバーに和やかな気持ちで運転をしてもらいながら、交通事故をストップしてもらおうという意味です。今年は300本の赤いベチュニアの花苗を手渡しました。キャンペーンでは、関係者約40人がドライバーに「安全運転をお願いします」と花苗、チラシとポケットティッシュを配りながら、安全運転を呼びかけました。



津山

植樹を通じ緑の大切さを学ぶ 5月25日

「震災地域における学校環境教育向上のための緑化事業」式典が横山小学校校庭で行われました。

この事業は、(公社)国土緑化推進機構を通じ全労済が被災地域小学校の環境教育の向上を図るために実施。全労済から横山小みどりの少年団に制服31着が贈呈されました。その後、みどりの少年団の代表者4人が贈呈されたハナミズキ2本を校長先生や来賓者と一緒に「大きく育てほしい」と願いを込めて植樹しました。

遠きふるさとの思い出を語る 5月30日

東京中田会(小峯喜八会長)総会が、東京都新宿区のホテルグランドヒル市ヶ谷で開催され、市からは市議会議員など7人が出席しました。総会では、東京中田会設立25周年を記念して発行された「会報えんつこ総集編」が榊原剛三副会長から佐々木茂光支所長へ贈呈。総会終了後に開催された懇親会では、中田産のぎゅうり、仙台牛や大泉ポークなどの食材を使用した料理が並んだテーブルを囲み、ふるさとの懐かしい思い出や近況を語り合いました。



中田